

「今週の一枚」

種子を運ぶ動物たち



アカネズミとカケス

Apodemus speciosus & *Garrulus glandarius*

植物は動物と違って自分で移動することが出来ません。そのため、風や動物の力を借りて種を遠くに運んでもらいます。カケスや野ネズミ、リスはシイやカシのドングリを食べますが、見つけたドングリの一部を餌の少ない冬のために巣や落葉の下、倒木の脇などに貯めておきます。このうちいくつかはそのまま忘れられて、翌春に芽を出します。

現在、野ネズミがどのような場所にどの程度の距離、ドングリを運ぶかについての実験を行っています。山で採集してきたドングリに磁石を埋め込み、これらのドングリを人工林と広葉樹林との間に設置したゲージに入れて放置してあります。持ち去られたドングリを探し出し、見つけ出した場所や食べた痕の有無などを調べることで、野ネズミがドングリの散布に果たす役割を明らかにします。（平田泰雅）

（No.112 2005.3.31 掲載）